

地域医療連携だより



■循環器内科からのお知らせ

2019年4月以降、カテーテル治療件数が増えています。

新型コロナウイルス感染症が大きな問題となる昨今、地域の先生方におかれましては、感染対策や発熱患者への対応、不足しがちな医療材料確保など、いつも以上に大変な日々を過ごされていることと推察いたします。

さて、循環器内科は2019年度から新体制になり、約1年が経過しました。循環器内科の最大の本分は心臓発作に対する緊急治療、特に急性心筋梗塞に対する緊急カテーテル治療（primary PCI）にあります。これは最大限速やかに行うことで死亡率を10分の1にまで下げることができる唯一の治療法です。特に、埼玉県北地域はprimary PCI可能な施設が少なく、この体制を維持・強化することが、当科のみならず、当院の最大の使命と考え邁進して参りました。

下のグラフにあるように、2018年度と比較し、2019年度はカテーテル治療数、特に緊急カテーテルの件数が増加しました。これはひとえに、近隣の先生方からのご紹介や救急隊からの直接の搬送が大幅に増加したことが要因と考えています。

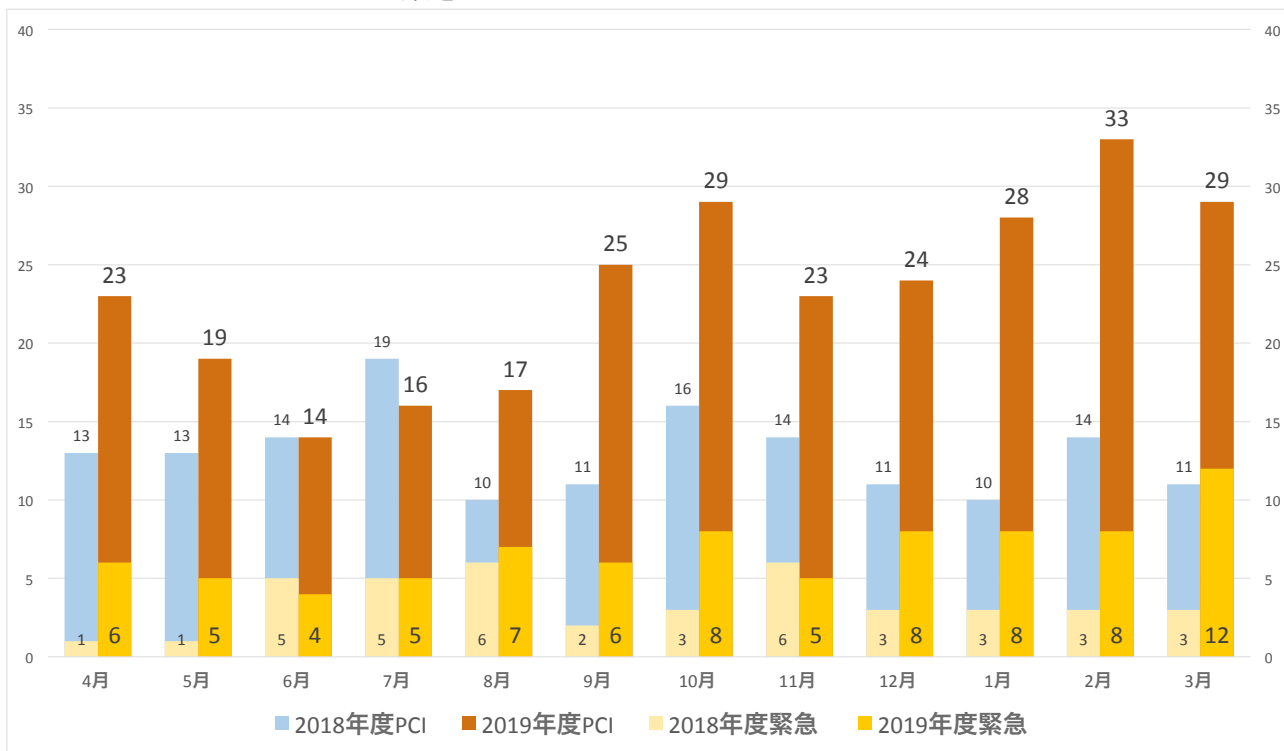
また、院内においても、救急総合診療科の先生方・スタッフの協力で、胸痛患者の受け入れがスムーズになり、我々循環器内科医の手がふさがっている状態でも初期対応いただける体制が整っており、バックアップ体制も強化されてきました。

24時間・365日の緊急カテーテル対応を目標としておりますが、3名の常勤医では現状の平日24時間・土日は月に2週のみ対応が限界で、それを継続としております。引き続き常勤医の確保、あるいは、大学医局からのprimary PCI対応可能な派遣医の要請などを行い、治療体制を充実させていきたいと考えております。

今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

▼ BAR GRAPH

■ PCI（経皮的冠動脈形成術） / 緊急カテ（急性心筋梗塞・不安定狭心症）



地域の先生方におかれましては、特に胸痛発作が疑われる緊急を要する患者さんにつきましては、疑い例や確信の持てないような例であっても、遠慮なく電話連絡をいただければと存じます。また、緊急性はなくとも心疾患を疑う所見やリスクのある患者さん、特に、男性・喫煙歴あり・高血圧症や高脂血症、あるいは糖尿病のあるような患者さんにつきましては、外来ベースでも検査を行えますので、ご紹介いただければ幸いです。

なお、動悸発作や不整脈のある患者さんについても積極的に対応致します。心房細動に対するカテーテルアブレーションや徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込みが必要なような患者さんのご紹介も増加しております。相談ベースでも構いませんので、併せてご紹介いただければ幸いです（不整脈外来：水曜・木曜・土曜の午前）。

循環器内科部長・興野寛幸

地域医療連携室 ▶ TEL.048-564-2537